



芳賀町夏祭祇園祭<祖母井>

# No.156

2015年8月1日発行

議会だより

# はが

## 6月議会定例会

6月定例会概要（報告、条例制定・一部改正）	2～4
一般質問	5～9
委員会活動、7月27日臨時議会	10
声<こえ>私のいたいこと	11
議会日誌・編集室	12

# 条例制定・一般会計補正予算などの議案を可決

## 6月定例会の概要

6月定例会を、6月8日から6月11日までの4日間の会期で開きました。

第1日目は、提出された全議案を上程し、町長の提案理由の説明を聞きました。また選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行い、同意案件を採決しました。

第2日目は、休会とし、第3日目に一般質問を行いました。一般質問では5人の議員が登壇し、5月18日に町長に就任した見目町長の町政運営についての考え方や食肉センター、ほ場整備、介護施設整備、健康づくり、人口ビジョンなど町政の各分野について質問を行いました。

第4日目は、報告案件について質疑を行い、その他の議案については質疑・討論・採決を行いました。また追加議案として提出された同意案件についても採決し、閉会しました。

### 報告

□ 繰越明許費繰越計算書の報告

について（平成26年度芳賀町

一般会計）

【内容】 平成26年度において繰越

明許費の議決されたものを平成

27年度に繰り越したことを報告

するもの。

（質疑なし）

□ 公益財団法人芳賀町農業公社

の経営状況説明書の提出に

ついて

□ 芳賀町ロマン開発株式会社の経

営状況説明書の提出について

【内容】 地方自治法第243条の3

第2項の規定により、両法人の

経営状況について、同法施行令

第173条第1項に規定する両法人

の経営状況を説明するため、平

成27年度の事業計画及び予算を

報告するもの。

【質疑】 水沼 孝夫議員  
小林 一男議員

### 条例制定・一部改正

□ 芳賀町職員の配偶者同行休業

に関する条例の制定について

【内容】 地方公務員法の一部を

務において活躍することが期待される職員の継続的な勤務を促進するため、職員が外国で勤務等をする配偶者と生活を共にすることがができる休業制度を国家公務員に準じて新たに制定するもの。

勤務等の事由により、外国に滞在する配偶者に同行を希望する職員に対して、公務の運営に支障がないと認めるときは、3年を超えない範囲で休業を承認することができるもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□ 芳賀町地区計画の区域内における建築物の制限に関する

条例の一部改正について

【内容】 平成16年4月の祖母井南

部地区計画の決定に伴い、その

区域内における建築行為等に対

する制限のために定めた本条例

について、地区計画の内容の一

部が変更されることに伴う改正

【主な改正点】 商業・業務施設の

立地を誘致してきたバイパス沿

道ゾーンにおいて、一部の街区

で戸建住宅や共同住宅を中心と

なる建物利用が進んでいること

から、その現況に即して当該街

区の建築物の用途制限及び敷地

ンと同様の制限に変更するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

□ 芳賀町家庭的保育事業等の設

備及び運営に関する基準を

定める条例の一部改正につ

いて

【内容】 児童福祉法に基づく家

庭的保育事業等の設備及び運営

に関する基準の一部を改正する

省令が平成27年4月1日から施

行されたことに伴う改正。

【主な改正点】 1人に限り保育士

とみなすことができる職種に准

看護師を追加するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）



▲バイパス沿道ゾーン

## ■一般会計の主な補正予算項目

歳入

項目	補正額
分担金及び負担金	都市計画調査費負担金 10,800,000 円
国庫支出金	社会保障・税番号制度システム整備費 2,584,000 円
県支出金	コミュニティ助成事業助成金 10,400,000 円
繰入金	財政調整基金 △ 264,000 円

歳出

項目	補正額
総務費	ホームページ管理システム改修にかかる費用 994,000 円
土木費	食肉センター排水受入検討業務費 10,800,000 円
	かしの森公園樹木伐採・整地費 1,326,000 円
教育費	稲毛田公民館建設に対するコミュニティ助成事業補助金 10,400,000 円

### 補正予算

□平成27年度芳賀町一般会計補正予算(第1号)

内容 総額に2、352万円を追加し、予算総額を78億52万円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)



▲町ホームページ



▲かしの森公園



▲社会保障、税番号制度ロゴマーク「マイナちゃん」

### 選挙

□芳賀町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

芳賀町選挙管理委員会委員及び補充員が平成27年6月16日をもって任期満了となることから、6月8日の本会議において指名推選による選挙を行い、次の方が当選されました。

委員

戸田 実(下高根沢)

高久 典男(祖母井)

菊地 一夫(芳志戸)

菅谷 恵一(西高橋)

補充員

井本 恵子(東水沼)

中村 信行(下高根沢)

手塚 利夫(下延生)

熊谷 茂(与能)

6月22日に選挙管理委員会が行われ、委員長に戸田実氏、職務代理者に高久典男氏が選任されました。

なお、補充員は選挙管理委員会に欠員が生じた場合に、井本恵子氏から順次補充されます。

### 選任意意

□芳賀町固定資産評価審査委員会委員の選任意意について

平成27年6月30日付けをもって任期満了となる小林操氏の後任として、飯塚表男氏(西高橋)を最適任者として選任することに同意しました。

□芳賀町副町長の選任意意について

議定例会最終日の6月11日に、坪川前副町長の後任として上野哲男氏(芳志戸)を副町長に選任する人事案件が提出され、議員全員の同意により選任されました。



▲上野哲男氏



▲飯塚表男氏

## 陳情

全栃木教職員組合（宇都宮市兵庫塚3丁目3の10、執行委員長篠原 章彦）から提出された次の4つの陳情は、定例会初日に教育民生常任委員会に付託され、審議されました。

その結果は次のとおり定例会最終日に報告されました。

□「国の責任による35人以下学級の前進」をもとめる陳情  
審議結果▽ 採択  
委員の意見▽ さまざまな課題を抱えた子どもたちが増えている中、一人一人にゆきとどいた教育を保障するため、全学年での35人以下学級を実施すべきであるという趣旨に賛同し、採択すべきものとする。

□国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金の確立をもとめる陳情  
審議結果▽ 不採択  
委員の意見▽ 高校無償化の復活については、子どもたちの学ぶ権利の保障のため、賛同すべきとされたが、給付制奨学金の確立についての陳情の趣旨は、財源の確保など現下の諸事情を

あわせ検討した結果、不採択すべきものとする。

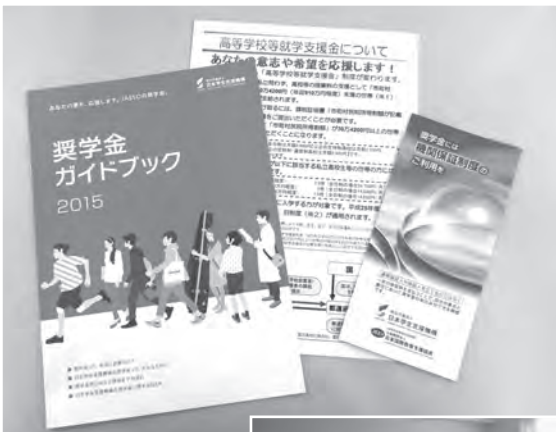
□「大学生への給付制奨学金創設」を求める陳情  
審議結果▽ 不採択  
委員の意見▽ 財源の確保など現下の諸事情をあわせ検討した結果、不採択すべきものとする。

□特別支援学校の「設置基準」策定を国に求める陳情  
審議結果▽ 不採択  
委員の意見▽ 特別支援学校の設置基準については、県が設けるものであり、その動向が具現

化されていない現状においては不採択すべきものとする。

4つの陳情に対する教育民生常任委員会の報告を受け、本会議において報告に対する賛否の採決が行われました。

採択された「国の責任による35人以下学級の前進」をもとめる陳情は、「国の責任による35人以下学級の前進を求める意見書」として追加上程され、全員賛成で採択し、関係大臣等へ提出しました。



## 第3回定例会の採決結果

議席番号	議員	「大学生への給付金制奨学金創設」を求める陳情	特別支援学校の「設置基準」策定を国に求める陳情
1	岡田	×	×
2	大根田(周)	×	×
3	大根田(弘)	×	×
4	水沼	×	○
5	北條	×	×
6	小林(一)	○	×
7	石川	×	×
8	小林(俊)	×	×
9	岩村	×	×
10	杉田	×	×
11	小林(隆)	×	×
12	小林(信)	×	×
13	大島	×	×
14	増淵	—	—
	採決結果	不採択	不採択

※賛否が分かれた案件のみを公表しています。○賛成 × 反対  
※議長は採決に加わりません。



※数字は議席の番号です。

## 見目町長の町政運営の考え方について

町長「町のよさや素晴らしさを積極的に

発信していきます。」

### 問

町長は施策としてLRTによる交流人口、デマンド交通の発展的な見直し等による便

え方で町政運営をしていくのかその胸の内の熱い思いや夢将来像、哲学をお聞きます。

### 答

町長 町内の農地の約8割が水田であることから、土

利、郷土愛・文武両道の教育、進出企業との交流、福祉・介護・医療の充実等による笑顔、情報発信力の向上、農業効率化、はが米ブランド化等による話題を挙げています。また、今年度は芳賀町の今後12年間のビジョンの骨子を定める第6次芳賀町振興計画策定の重要な年です。

そこで、芳賀町の将来をどのような方向にしていくのか「優良農地への農業政策」と「地方創生」に絞って、どのような考

地中間管理事業を活用した耕作農地の集積化を進めることで、農作業の効率化・競争力向上を図り、付加価値の高い米作りでは、安全・安心こだわりの米作りに取り組み、米価の安定と産地間競争で勝ち残るために意欲ある農業者を支援していきます。



大島 浩 議員  
(西水沼)

地域創生の考え方については、地域の創生なくして国の繁栄存在はありえないことから、国は地域の独自色を出して取り組むことを提唱しました。そのようなことから、町づくりは現状にプラスして町外に向けて芳賀町の良さや素晴らしさを積極的に発信し、町外の方から見てもにぎわいのある町、活気のある町を作っていくことで交流人口を増やし、その結果、定住人口が増えていくような施策を本年度策定する第6次振興計画に反映させていきます。



## 食肉センターについて

町長「周辺住民を対象とした先進地視察の実施に

向け、県などに働きかけを行います。」

### 問

県畜産酪農研究センター芳賀分場跡地に建設が予定されている食肉センターの地元説明会で県が説明した内容と地元

の反応についてお聞きます。私も畜産業を営んでおり、現在の食肉センターの老朽化や稼働限界を数年前から聞いていたので、新設予定食肉センターの早期稼働を望んでいます。他県でも栃木県と同様に新設されている食肉センターへの視察・研修を実施する考えはありますか。

町長 地元説明会は平成27年2月24日に県及び食肉センター整備検討協議会により、農業者トレーニングセンターにおいて46人の出席のもと行われました。旧来のと畜場とは違い、新設予定の食肉センターは高度の衛生管理を行うことで外見からも食品加工場と考えていただきたいという説明でした。地域の方から質問もありましたが、絶対反対などの意見もなく、最後にはむしろ地域貢献に寄与し

てほしいとの意見が出るほどでした。食肉センターの先進地視察については、説明会において周辺住民を対象とした先進地視察を必ず実施すると明言していますので、町としても実施に向けて働きかけを行っていきたいと考えています。



▲県畜産酪農研究センター芳賀分場



北條 勲 議員  
(給部)

## 選挙事務について

選挙管理委員会「次回の選挙から改善します。」

**問** 芳賀チャンネル番組表に町長・議会議員の選挙開票状況を生中継しますのでご覧くださいとありました。町民だれもが選挙結果を早く知りたくてテレビを見ていましたが、開票事務の初歩的ミスの映像に絶望しました。町民にわかるように説明願います。

**答** 選挙管理委員会委員長 当選証書付与式でも申し上げましたが、一部不手際があり、選挙管理委員会として深くお詫び申し上げます。

テレビ放映は、投票率アップにつなげたいとの思いで了承したものです。

**問** 立候補届出の事前審査があつたにもかかわらず受付がスムーズに出来なかつた理由は。

**答** 選挙管理委員会書記長 立候補届出の受付が一カ所と少なく大変ご迷惑をおかけしました。次回からは迅速に進むよう改善します。

**問** 開票台の上の投票箱を全部開けなかつたにもかかわらず、開票係と氏名確認係を帰した理由は。

**答** 選挙管理委員会書記長 すべての投票箱が開票台に上がつていることを確認しないまま開票を進めてしまったためです。

**問** 芳賀チャンネルを見たが、選挙管理委員会の放送は聞こえない、開票事務を映しているが作業内容の説明がないので町民は何をしているのかわからなかつた。今後の反省点は。

**答** 選挙管理委員会書記長 芳賀チャンネルの放映は、投票率向上になるの思いで放映を了承したものです。今回の放映をよく検証し、放映はどうあるべきか、広報係と協議しながら検討します。

**問** 広報の「あなたの声を聞かせてね」の欄に「町民が注目した選挙放映がはつきり伝わらず残念でした。今後の課題ですね。」とありました。選挙係も広報係も同じ総務企画部内の職員です。もっと連携が必要と思えますが町長の考えは。



**答** 町長 放映については、選挙係と連携が必要ですが、選挙係も広報係も同じ総務企画部内の職員です。もっと連携が必要と思えますが町長の考えは、選挙係と広報係の連携を強化し、情報共有を図り、トータルで町民の声を聞かせていくように指示します。

**職員が働きやすい環境について**  
町長「職員の意見を尊重し、話し合う機会を持ちたいと考えています。」

**問** 町長初登庁時に、職員が生懸命仕事をすることができ環境をつくると述べたが、具体的にどうするのか。

**答** 町長 町振興計画の施策のひとつに「職員の育成」があり「職員は働く喜びを感じられる」という目的が掲げられています。職員がやりがいや達成感、働く喜びを感じられるよう町政運営をしたいと考えています。まずは職員の意見を尊重し、じっくりと話し合う機会を持ちたいと考えています。

また町長の事務執行に関する最高審議機関である庁議を毎月一回以上開催し、部課相互の総合調整・情報共有を図り、トータルで町民の声を聞かせていくように指示します。



▲庁議の様子

**問** 初登庁の訓示では「町民から信頼される職員になり失敗を恐れず、目標に向かって前向きに取り組んでほしい」とあった。しかし、失敗したとき行政の最高責任者は誰か。

**答** 町長 当然町長です。できる限り職員自身の考えを前向きに出せるような形を考えています。

旧高橋小学校跡地を介護保険等入所施設にしては

町長 「高齢者が安心して住み続けることのできる環境を整備してまいります。」

**問** 芳賀町の高齢者数は増加傾向にあり、65歳以上の高齢化率が30%に達する見込みです。高齢者人口の増加に伴い、後期高齢者の要支援、要介護の認定者数が急増しています。町内には旧小学校跡地が存在しますが、特に旧高橋小学校跡地を有効活用して、介護保険等入所施設を整備してはどうかと考えますが町の考えを伺います。

**答** 旧小学校跡地の有効利用の検討も含め整備したい

**町長** 我が国では、急速な高齢化の進行により、超高齢社会を迎えています。このため、町としても高齢者が住みなれた地

域において健康で生きがいを持って住み続けられるよう医療、介護、介護予防、住まい、生活支援が包括的に確保されるよう、地域包括ケアシステムの体制づくりを推進しています。今後は、ひとり暮らしの高齢者、高齢夫婦だけの世帯の増加や、家族の高齢化に伴う介護力の低下などで介護施設への入所需要が高まっていくと考えます。施設整備に当たっては、旧高橋小学校跡地などの旧小学校跡地の有効利用の検討も含め、高齢者が安心して住み続けることのできる環境を整備してまいります。



▲旧高橋小学校跡地

**問** 現在の高橋小学校跡地では、地域の老人クラブの方が定期的にグラウンドゴルフを楽しまれています。また、体育館と休憩室では生きがいサロンが開催され大変好評です。そこで、施設ができた場合、入所された方と地域の方が交流できる介護施設と生涯学習施設が一体となった県内でもモデル的な施設を整備してはいかがでしょうか。

**答** 町長 私も賛成の部分もありますが、補助金の流れからしても、一つの事業の中で建設するというのは不可能なのかなどと思います。

県営ほ場整備事業「打越新田地区」の進捗状況は

町長 「全体の約61%の進捗状況です。」

**問** 打越新田地区のほ場整備事業については当初、総事業費5億1,000万円、平成30年度完了という計画で事業が進められていますが、現時点での進捗状況について伺います。

**答** 町長 打越新田地区については、平成25年度から県営ほ場整備事業を実施しています。平成26年度に本工事に着手し、現在3・4haのほ場が整備済みで、用排水路は1,782m、道路については88mが整備済みです。平成27年度については、前年度からの繰越工事とあわせて、整地工10・8ha、用水路工3、184m、道路工1、134mが整備される見込みです。事業採択のときの計画と比較すると、国の予算割り当てが厳しいことから、本来であれば本年度中に整地工が完了予定ですが、約61%の整備状況です。

**問** 国の予算割り当てが厳しくて計画どおりの完了は難しいということですが、当該地区の現状は大部分が小区画の水田

**答** 町長 できるだけ早い事業の完成を目指し国や県にも要望してまいります。今後、いろいろな形で努力してまいります。

で、農業用道路も少なく、狭いことから、大型機械による耕作が円滑にできないばかりか、水路も未整備の土水路です。また、地下水が高く、転作にも支障を来しています。こうしたことから、経営の近代化を図るには、どうしても田畑輪換が可能な条件整備は喫緊の課題です。町長と関係者が一丸となって国・県に対し、予算獲得に向けて至急行動していただきたい。



▲未整備の土水路



大根田周平 議員 (西高橋)



石川 保 議員  
(下高根沢)

## 芳賀町の将来にLRTをどう活用するのか

町長「コンパクトシティをつくるための手段として活用します。」

**問** このたびの選挙で当選された町長として、公約の実現の程は。LRTの祖母井まで延伸する実現とまちづくりのビジョンは。

答 町長 LRTの町中心部への延伸は、町民の利便性の向上や地域の活性化に加え、町の地盤沈下を防ぐねらいがあります。交流人口を増やすことにより町ににぎわいを生み出すことができれば定住人口の増加も期待できます。LRTは整備することが目的でなく、コンパクトシティをつくるための手段であると考えます。

答 町長 LRTの町中心部への延伸は、町民の利便性の向上や地域の活性化に加え、町の地盤沈下を防ぐねらいがあります。交流人口を増やすことにより町ににぎわいを生み出すことができれば定住人口の増加も期待できます。LRTは整備することが目的でなく、コンパクトシティをつくるための手段であると考えます。



▲管理センター前交差点から祖母井方面



▲祖母井の商店街

継ぎ拠点の整備など、さまざまな利便性向上に一体的に取り組めます。

**問** 商店街の活性化資金の活用について具体的にどのようなものか伺います。

**答** 町長 町が考えている商店街活性化資金は、町内の事業者が今後も継続して商店事業を営んでいくことができる「持続化」の支援を行いたいという主旨です。内容はまだ具体化していませんが、中小企業振興資金の充実化、創業資金の支援制度を商工会などと、相談、連携しながら効果的で使い勝手のよい制度を創設したいと考えています。

答 町長 町が考えている商店街活性化資金は、町内の事業者が今後も継続して商店事業を営んでいくことができる「持続化」の支援を行いたいという主旨です。内容はまだ具体化していませんが、中小企業振興資金の充実化、創業資金の支援制度を商工会などと、相談、連携しながら効果的で使い勝手のよい制度を創設したいと考えています。



▲ひばりタクシー

**問** ひばりタクシーの増設と料金の低減とは具体的にどのようなか伺います。

**答** 町長 今後、高齢化社会がますます進展する中、デマンド交通の利便性の向上は待ったなしの課題と捉えています。現在ひばりタクシーは、午前8時から午後5時までの営業で、料金は中学生以上300円、小学生以下150円です。近隣の高根沢町では、利用料金100円で、運行時間も午前7時から午後6時となっています。芳賀町も見直しを検討し、運行時間を拡大すると同時に料金も見直し、利便性の向上を図ります。

答 町長 今後、高齢化社会がますます進展する中、デマンド交通の利便性の向上は待ったなしの課題と捉えています。現在ひばりタクシーは、午前8時から午後5時までの営業で、料金は中学生以上300円、小学生以下150円です。近隣の高根沢町では、利用料金100円で、運行時間も午前7時から午後6時となっています。芳賀町も見直しを検討し、運行時間を拡大すると同時に料金も見直し、利便性の向上を図ります。



▲明るい選挙のイメージキャラクター「選挙のめいすいくん」

**問** 今回の町長選挙の結果は、74票差、投票率75・3%でした。これをどのように捉えているのか伺います。

**答** 町長 投票率は全国的にも年々低下する傾向にあり、この傾向に歯止めをかけるのは難しいと思っています。投票の結果については、前町長を半分の方が支持をしたというのを、謙虚に真摯に受け止めるしなければならぬと考えています。私が常々心がけていることは、聖徳太子の教えである「和を以て貴しとなす」の精神です。家庭も組織も地域も街も「和の心が大切である」と考えています。

答 町長 投票率は全国的にも年々低下する傾向にあり、この傾向に歯止めをかけるのは難しいと思っています。投票の結果については、前町長を半分の方が支持をしたというのを、謙虚に真摯に受け止めるしなければならぬと考えています。私が常々心がけていることは、聖徳太子の教えである「和を以て貴しとなす」の精神です。家庭も組織も地域も街も「和の心が大切である」と考えています。



## 芳賀町民の歯及び口腔の健康づくり推進条例の制定について

町長「今年度中の制定に向け進めていきます。」

**問** 平成23年12月定例会において質問しましたが、その後「芳賀町健康づくり推進計画」の中で、一部、推進の努力目標程度で取り入れて頂きました。

**答** 町長 質問を受け、平成24年度の「健康づくり推進計画」の中間見直しに、歯の健康と歯周疾患予防について目標値等を明記しました。さらに歯周疾患検診の対象者を10歳ことから5歳ごとにし、平成26年度からは40歳から70歳全年齢を対象を広げ実施しましたが、受診率は上昇しませんでした。議員から歯周疾患検診と他の病気に對する医療費との関連データをいただき、大変参考になりました。今まで条例よりも事業をするのとだと考えていましたが、条例で知識の普及が進むのであれば、非常に効果的だと思います。

県の推進条例に基づき、事業が効果的に推進されるためにも、町の責務や町民の責務、関係機関の責務を明確にした歯と口腔の健康づくり推進条例案を制定に向けて検討しているのので、本年度中に制定するように進めていきます。

町の推進条例に基づき、事業が効果的に推進されるためにも、町の責務や町民の責務、関係機関の責務を明確にした歯と口腔の健康づくり推進条例案を制定に向けて検討しているのので、本年度中に制定するように進めていきます。

前町長は人口減少を最重要課題として、人口ビジョンは企業誘致や居住条件の拡大により、持続的発展のできる2万人程度を目指したいと答弁していました。見目町長は特に高齢化社会を重視し、少子化・人口減少問題について少々トーンダウンした感があります。人口ビジョンについて2万人程度を目指すのか、新たな人口ビジョンを示すのか考えを伺います。

**問** 前町長は人口減少を最重要課題として、人口ビジョンは企業誘致や居住条件の拡大により、持続的発展のできる2万人程度を目指したいと答弁していました。見目町長は特に高齢化社会を重視し、少子化・人口減少問題について少々トーンダウンした感があります。人口ビジョンについて2万人程度を目指すのか、新たな人口ビジョンを示すのか考えを伺います。

町長 前町長の発言は、長期的な計画、構想を明確にした上での人口ビジョンではなかったように記憶しています。私も2万人と言いたいところですが、さまざまな調査・分析をした上で人口の将来展望を見通すことができるかと考えています。

町長 非常に難しい問題です。総合戦略としてのLRTの祖母井延伸を公約に挙げました。考えとしては議員と同じです。総合的に両方とも相乗効果のような方法を考えていかなければ難しいかと思っています。

町長 非常に難しい問題です。総合戦略としてのLRTの祖母井延伸を公約に挙げました。考えとしては議員と同じです。総合的に両方とも相乗効果のような方法を考えていかなければ難しいかと思っています。

町長の認識によつて、人口ビジョンも総合戦略も全く

## 地方人口ビジョン及び地方版総合戦略について

町長「芳賀町に住んでみたいと思えるようなまちづくりをします。」

町長は超長期的な目標としてLRTの祖母井延伸を掲げました。けれどそんな悠長な話は無責任です。町は今、非常に良いポテンシャルを持っています。LRT・工業団地・財源等々。それを潰してしまう人口減少を受入れてのビジョンを立て方だけはやめていただきたい。人口フレームによる根拠が無ければ町づくりは成立しません。町長主導でしっかりとやっていただきたい。

町長 非常に難しい問題です。総合戦略としてのLRTを活用した次世代創生特区構想は、私も選挙公約に、便利をつなげるとしてLRTの祖母井延伸を公約に挙げました。考えとしては議員と同じです。総合的に両方とも相乗効果のような方法を考えていかなければ難しいかと思っています。

町長 非常に難しい問題です。総合戦略としてのLRTの祖母井延伸を公約に挙げました。考えとしては議員と同じです。総合的に両方とも相乗効果のような方法を考えていかなければ難しいかと思っています。

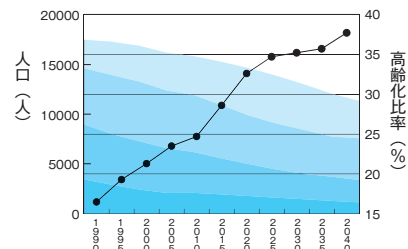
町長 非常に難しい問題です。総合戦略としてのLRTの祖母井延伸を公約に挙げました。考えとしては議員と同じです。総合的に両方とも相乗効果のような方法を考えていかなければ難しいかと思っています。

町長 非常に難しい問題です。総合戦略としてのLRTの祖母井延伸を公約に挙げました。考えとしては議員と同じです。総合的に両方とも相乗効果のような方法を考えていかなければ難しいかと思っています。

町長 非常に難しい問題です。総合戦略としてのLRTの祖母井延伸を公約に挙げました。考えとしては議員と同じです。総合的に両方とも相乗効果のような方法を考えていかなければ難しいかと思っています。



水沼 孝夫 議員 (下延生)



# 委員会活動

## 議会閉会中の所管事務調査

常任委員会は、所管に関する事務について自主的に調査を行う権限も有しており、これを「所管事務調査」といいます。

総務・教育民生・産業建設の各常任委員会は、議会最終日の6月11日に閉会中の所管事務調査について議長に申し出し、採決の結果、許可されました。

各常任委員会は次のテーマについて調査を行い、12月定例会に調査結果を報告します。

### 総務常任委員会

#### 広報紙のさらなる充実について

広報紙やウェブ、芳賀チャンネルをつなげ、町民に情報を正しく詳細に周知する方法を調査研究する。

#### 委員

- 委員長 小林 一男
- 副委員長 岡田 年弘
- 委員 増淵さつき
- 委員 杉田貞一郎

### 教育民生常任委員会

#### 健康づくりの拠点のあり方について

近年、高齢化・少子化・育児等に課題を抱えている人が増加している。さらに医療や介護にかかる費用は増加している。「元気な高齢者をつくる」「育児の不安を少なくする支援を行う」「健康な町民を増やす」ことなどが必要であることから、それを推進するための拠点について調査研究する。

#### 委員

- 委員長 大島 浩
- 副委員長 北條 勲
- 委員 小林 信二
- 委員 大根田 弘
- 委員 大根田 周平

### 産業建設常任委員会

#### LR T（次世代型路面電車）の運営状況と今後のまちづくりについて

芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会で進められているLR T（次世代型路面電車）について、すでに運行している第三セクター方式による運営状況や当該地域の将来的なまちづくり計画などを調査研究する。

#### 委員

- 委員長 水沼 孝夫
- 副委員長 石川 保
- 委員 小林 隆志
- 委員 岩村 治雄
- 委員 小林 俊夫



# 7月27日臨時会の概要

平成27年第4回臨時会を7月27日、1日の会期で開催しました。主な議案は、一般会計補正予算と工事請負契約の締結についてでした。

## 補正予算

■専決処分の承認を求めることについて（平成27年度芳賀町一般会計補正予算（第2号））

■一般会計補正予算（第2号）

内容 総額に4,243万円を追加し、予算総額を78億4,295万円とするもの。緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がなかったため、平成27年7月1日に専決処分。

○歳入 繰越金4,243万円

○歳出 徴税費4,243万円（質疑・討論なし、原案承認）

■平成27年度芳賀町一般会計補正予算（第3号）

内容 総額に2,705万4千円を追加し、予算総額を78億7,000万4千円とするもの。

○歳入

・国庫支出金 516万3千円

（経営体育成支援事業費補助金）

・県支出金 1,509万7千円

（水田経営とちぎモデル条件整備事業費補助金）

・繰越金 679万4千円

○歳出

・補助金 2,705万4千円

（経営体育成支援事業費補助金 2,189万1千円、水田経営

とちぎモデル条件整備事業費補助金 516万3千円）

【質疑】 杉田貞一郎議員（討論なし、原案可決）

## 契約

■工事請負契約の締結について

内容 災害時に芳賀広域消防本部を経由して各市町間で無線の使用が可能となる共有型の移動無線システムを整備するための工事請負契約。

○契約金額 5,616万円

○契約の相手方

東京都中野区中野四丁目10番1号 日本無線株式会社 ソリユーション営業部長 永村 猛

【質疑】 小林 一男議員（討論なし、原案可決）

■工事請負契約の締結について

内容 芳賀町B&G海洋センターの空調設備が経年劣化したことによる更新工事請負契約。

○契約金額 6,069万6千円

○契約の相手方

宇都宮市築瀬町1923番地の2 株式会社田中工業 代表取締役 田中英治 【質疑】 小林 一男議員（討論なし、原案可決）



## 長生きできる町づくり



小林 靖幸さん  
(与能)

私は十数年前に長男の小学校入学を機に芳賀町にUターンしました。地元に戻ってまず感じたことは、以前と同じように受け入れてくれる人の温かさでした。東京に住んでいた頃は、隣人の顔も知らないほど地域との関係が希薄でしたし、若い頃は煩わしさも感じていました。しかし、家族を持ったことで大切さを感じ始めました。

都市型の利便性を求めて若者が流出している一方で、人とのふれあいを求めて地方に移住する人たちも少なくありません。こうした人たちを積極的に支援する自治体も数多くあります。また、高齢化が問題視されていますが、高齢者が多いということは、言い換えれば長生きができる町ということです。終の住処としての環境が整備されれば、人は集まってくるはずで、都市型の利便性の模倣ではなく、福祉施設及びサービスの拡充、移住希望者支援の取り組みをより一層お願いします。

## 町政の舵取りに期待



阿久津政光さん  
(芳志戸)

私も還暦を迎える年齢になりました。以前は60歳から年金が支給されていましたが、今は支給年齢が60歳から65歳へと段階的に引き上げられており、不安の中で生活しています。

そこで今年4月に当選された新町長、町議の方々にお願いがあります。

まず、少子高齢化対策です。各集落を見てみると、子どもが少なく、近い将来独り暮らしの世帯や、さらには空き家が増えてしまうのではないかと心配になります。

次に農業の将来性についてです。現在米価が安く、減反もあり、その上農機具設備などが高いので後継者がどんどん減ってきています。芳賀町には恵まれた農地がありますが、採算が取れないので若者に託すことができません。

少しでも不安が軽減し安心して暮らせる芳賀町となるよう、明るい希望をもって生活できるよう、町政の舵取りをお願いします。

## 議会傍聴女子しませんか



岡田 順子さん  
(西高橋)

先日、久しぶりに芳賀町議会を傍聴しました。8年ぶりに町長・町議選が行われ迎えた議会、傍聴席が満席になることを予想して早めに出かけました。

静まり返った傍聴人出入口、不安になりながらもドアをあけてみました。開会までには集まってきましたが、傍聴人は思ったより少ない。議会の内容はテレビ放映や広報紙などで知ることはできますが、議場内の空気・質問・答弁の一言一言の応酬、その緊張感は、そこにいてわかるもの。活気ある傍聴席は議場全体を盛り上げるのではないかと思います。時間をつくって傍聴してみませんか。議会傍聴女子「ぎーじょ」増えるといいですね。

3階のフロアへ入って感じたのですが、議場へ入る前の出入口ドア周辺に、開会前の15～20分の間、案内や説明の方がいるといいと思います。また、一般質問の日は来庁された人にもわかるよう何箇所かに案内を掲示してはいかがでしょうか。

# 議会日誌

## 4月

- 1日・辞令交付式
- 8日・中学校入学式
- 9日・小学校入学式
- 16日・議会広報常任委員会
- 17日・例月出納検査
- 20日・芳賀中部上水道企業団例月出納検査

## 5月

- 1日・初当選議員勉強会
- 8日・議員懇談会
- 14日・初当選議員勉強会
- 14日・町体育協会総会
- 20日・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 21日・第2回芳賀町議会臨時会  
・議員全員協議会
- 25日・例月出納検査
- 26日・全国町村議長研修
- 28日・町都市計画審議会
- 29日・議員全員協議会

## 6月

- 1日・議会運営委員会
- 3日・県町村議会議長会正副会長会議
- 8日・第3回芳賀町議会定例会（～11日）
- 10日・議会改革検討委員会
- 11日・議員全員協議会  
・議員会・議友会総会  
・総務・教育民生・産業建設常任委員会  
・議会広報常任委員会
- 12日・芳賀地区広域行政事務組合議会臨時会
- 14日・町消防団夏季点検
- 17日・町国保運営委員会
- 19日・例月出納検査
- 25日・芳賀郡中部環境衛生事務組合議会臨時会  
・芳賀中部上水道企業団議会臨時会
- 29日・県町村議会議長会議・研修
- 30日・芳賀中部上水道企業団例月出納検査

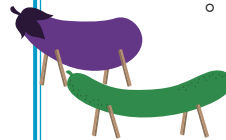
## 7月

- 4日・全国女性町長サミット
- 6日・町消防委員会
- 12日・県消防協会芳賀支部消防操法大会
- 13日・県土整備委員会現地調査
- 15日・町政懇談会
- 16日・全国町村議長会会長会議
- 18日・天機奉伺
- 21日・議会広報常任委員会  
・芳賀北部広域行政推進協議会
- 23日・例月出納検査
- 27日・第4回芳賀町議会臨時会  
・議員全員協議会



### 謹告

芳賀町議会議員は、公職選挙法の趣旨を踏まえ、申し合わせにより初盆のご挨拶は自粛しています。町民の皆様のご理解をお願い申し上げます。



〈次回の定例会は9月2日からの予定です〉

## みんなで議会を傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも放送します。

### — 放映時間 —

会議当日	午後8時から
再放送	翌日の午後2時から

## 編集室

5月に臨時議会が開催され、正副議長、常任委員、監査委員が選任されました。また6月の定例会で副町長が選任され、基礎のしっかりした「芳賀町丸」が船出しました。

本年度は芳賀町議会の増測議長が栃木県町村議会議長会の会長に就任しました。女性の会長など多忙な日々を送っています。

町発展のため、皆様のご意見・ご要望などをお寄せください。また、議会傍聴に足を運んでいただければ幸いです。よろしくお願いたします。  
副委員長 大根田 弘

### ■議会広報常任委員会

委員長 大根田周平  
副委員長 大根田 弘  
委員 岡田 年弘  
委員 増測さつき  
委員 杉田貞一郎